7
その他

オフィスモードで使う …………7-2
電話をかける …………………………7-3
電話を受ける …………………………7-4
外線発信番号［メニュー85］………7-5
優先発信切替［メニュー85］………7-6
発信するモードを一時的に
切り替える ………………………7-7
番号選択［メニュー88］……………7-8
オフィスモードでのその他の機能 …7-9

グループモードで使う ………7-10
グループの登録［メニュー82］…7-11
グループ登録を消去する …………7-16
相手を呼び出す ……………………7-18
相手の呼び出しに応じる …………7-20

電話帳やブックマークを転送する……………………7-21
転送の準備をする …………………7-21
電話帳を転送する［メニュー35］…7-23
ブックマークを転送する
［メニュー35］…………………7-26

位置情報を利用する …………7-29
位置情報通知機能の概要 …………7-29
発信型機能を利用する
［メニュー84］…………………7-31
着信型機能を利用する
［メニュー84］…………………7-33

デジタルカメラユニットを利用する……………………7-37
デジタルカメラユニットで
撮影する…………………………7-37
撮影した画像を表示する …………7-39
撮影した画像を消去する …………7-40

国際ローミングを利用する …7-41
ローミングモードに切り替える
［メニュー89］…………………7-41
台湾のローミング電話番号を
登録する［メニュー89］………7-43
タイのローミング情報を登録する …7-45
国際プリフィクス番号を
簡単につける……………………7-48

ウィルコムのサービスを利用する……………………7-49
料金分計サービスを
利用する（有料）………………7-49
留守番電話サービスを
利用する（有料）………………7-53
着信転送サービスを使う …………7-55

国際電話をかける ……………7-56

ダイヤルアップ接続時にワンタイムパスワードを使用する……7-57
ダイヤルアップ接続時のワンタイム
パスワードについて……………7-57
ワンタイムパスワードを有効にする
……………………………………7-57
ワンタイムパスワードを入力する
……………………………………7-58

リモートロック機能を利用する……………………7-60
リモートロック機能の概要 ……7-60
リモートロック機能の設定をする…7-62
リモートロックを実行する ……7-69

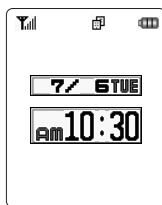
管理者ロック機能を利用する…7-73
管理者ロック機能の概要 ………7-73
管理者ロック機能の設定をする…7-74

オフィスモードで使う

オフィスシステム（PBX）に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。また、ダイヤルアップ設定（☞3-68ページ）で、「オフィス」の接続先を、事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどに設定すると、オフィスモードでWeb機能やEメールの送受信などの機能を利用することができます。

●事業所用コードレスシステムの子機としてご使用になる場合、使用する事業所などに事業所用PHSシステムが設置されている必要があり、また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
●オフィスシステム（PBX）に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
●オフィスシステム（PBX）は、各会社によって異なります。また、電話のかけ方など操作方法は、本書の説明と異なる場合があります。
●対応するPBX、登録方法など詳細については、販売店、メーカーなどにお尋ねください。

■モードの切り替え

オフィスシステム（PBX）の子機として利用するときは、待受モードを「オフィス」または「公衆＋オフィス」に切り替えます。「待受モードを切り替える［メニュー81］」（☞1-39ページ）

オフィスモード

公衆+オフィスモード
（オフィス優先）

電話をかける

オフィスシステム（PBX）の子機として電話をかけるときは、一般のオフィスの電話機と同じようにご利用いただけます。デュアルモードの場合、メニュー85 発信設定の「優先発信切替」（☞7-6ページ）が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。

●市内電話発信のとき、外線発信番号のあとに市外局番の入力は不要です。
●国際電話がご利用いただけます。

1 内線の場合、相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。外線の場合、外線発信番号をつけて相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。内線、外線ともにアンテナをのばしてご利用ください。

入力した電話番号が表示されます。

▶電話帳から電話番号を検索するには
「電話帳を利用して電話をかける」（☞2-70ページ）

▶リダイヤルなどから電話番号を検索するには
「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」（☞2-8ページ）

▶電話番号を修正するには
最後の1桁を消す：(クリア)を押す
すべての桁を消す：(クリア)を約1秒以上押す

▶あらかじめ外線発信番号を登録（☞7-5ページ）しておくと
外線発信番号なしで電話番号を入力した後や、電話帳などからの発信時に(ダイヤル)を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号がつけられます。

2 (通話)を押す

「(通話マーク)」が点灯し、相手が出ると通話できます。
通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら(PWR)を押す

「(通話マーク)」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

●外線発信番号はオフィスシステム（PBX）の設定やご契約の内容によって異なります。
●国際電話のご利用の可否についてはPBXの設定によりますのであらかじめご確認ください。
●表示される通話時間は目安です。
●オフィスモードでは分計発信（☞7-49ページ）はご利用になれません。

電話を受ける

1 着信音またはバイブレータが動作し、着信ランプが点滅する

着信中の回線の種別（外線／内線／専用線）が表示されます。回線の種別ごとに着信音を設定することができます。「着信音やアラームの種類を変える［メニュー61］」（☞2-105ページ）

2 アンテナをのばし、を押す

「」が点灯し、相手と通話できます。
通話時間が表示されます。

3 を押す

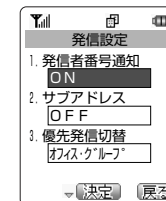
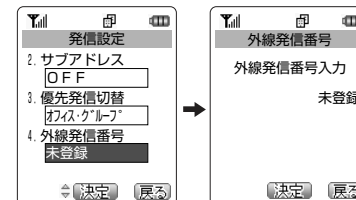
「」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

●電話をかけてきた相手から発信者番号が通知されてきたときには、相手の電話番号が表示されます。また、電話帳に登録（☞2-57ページ）されている相手からかかってきたときは、名前が表示されます。
●エニーキーアンサー（☞6-29ページ）を「ON」に設定すると、、以外のボタンであればどのボタンでも電話に出ることができます。

外線発信番号［メニュー85］

外線発信番号を登録することができます。登録しておくと、直接ダイヤルした番号、電話帳、リダイヤル、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりにを押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的につけることができます。もう一度を押すと、外線発信番号は消えます。

1 待ち受け画面で（Menuボタン）と押す

2 を押して「4.外線発信番号」を選択し、（決定）を押す

3 ダイヤルボタンで外線発信番号を入力する

外線発信番号は6桁まで入力できます。

▶外線発信番号を修正するには
最後の1桁を消す：を押す
すべての桁を消す：を約1秒以上押す

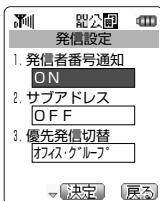
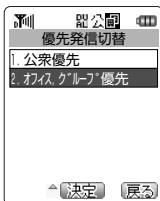
4 （決定）を押す

メッセージが表示され、外線発信番号が登録されます。

その他　オフィスモードで使う

優先発信切替［メニュー85］

待受モードを「公衆+オフィス」に設定しているときに、公衆またはオフィスのいずれのモードで発信するかの優先順位を設定できます。

1 待ち受け画面で(Menu)（Menuボタン）(8)(5)と押す

2 ◎を押して、「3.優先発信切替」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して、優先発信するモードを選択する

4 ◯（決定）を押す

完了音が鳴り、メッセージが表示され、優先発信するモードが設定されます。
待受モードが「公衆+オフィス」に設定されているときは、ディスプレイに、現在優先発信に設定されているモードが「■」「■」のように表示されます。

公衆優先の場合

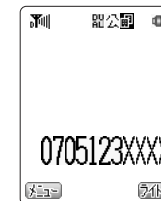
お知らせ

- 待ち受け画面で◎を約１秒以上押すことでも、優先発信するモードを変更できます。
- お買い上げ時は「オフィス,グループ優先」に設定されています。

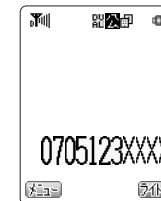
発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆+オフィス」に設定しているとき一時的にモードを切り替えて発信することができます。公衆またはオフィスのいずれかのモードが圏外のときは切り替えることができません。

1 相手の電話番号をダイヤルする

ダイヤルした電話番号が表示されます。

オフィス優先

2 (QR)を押す

優先発信モードが切り替わります

公衆優先

3 (発信)を押す

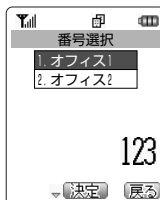
「■」が点灯し、相手が出ると通話できます。

お知らせ

- 通話を終了し、待ち受け画面に戻ると、元の設定に戻ります。モードの切替を次回からも有効にするには、優先発信切替（☞7-6ページ）で設定を変更します。

番号選択［メニュー88］

オフィスモードの番号が2つ登録されているときに、どちらかを選択します。

1 待ち受け画面で（Menuボタン）と押す

2 を押して、「1.オフィス1」または「2.オフィス2」を選択する

3 ◯（決定）を押す

お知らせ

●お買上げ時は、オフィスモードの電話番号が登録されていないため、オフィス1／オフィス2の選択はできません。

オフィスモードでのその他の機能

オフィスモードで使用する際、基本的に以下の機能を使用できます。実際に使うことのできる機能については登録されている事業所用コードレスシステムによって異なりますので、詳細については販売店・メーカまでお尋ねください。

●プッシュ信号の送信
通話中にダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送出します。

●内線番号表示
電話機の内線番号を表示します。「電話番号表示［メニュー0］」（☞6-4ページ）

●通話中保留
通話中にを押して通話を保留します。保留を解除するときは、もう一度を押します。

●内線／外線への転送
保留状態で転送先の番号をダイヤルし、転送先の相手が出たらを押します。

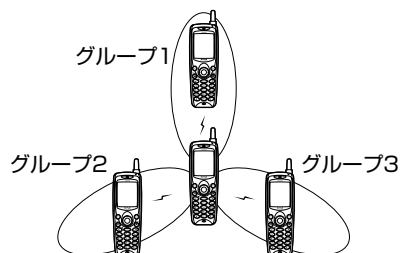
●切替通話
通話中に“プップップッ”という音（通話中着信音）が鳴ったときに、を押して通話相手を切り替えます。

●外線／内線／専用線の着信音鳴り分け
外線／内線／専用線からの着信を識別し、それぞれに着信音を設定できます。「着信音やアラームの種類を変える［メニュー61］」（☞2-105ページ）

お知らせ

●着信音の鳴り分けは、一部のオフィスシステム（PBX）では動作しない場合があります。

グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した端末をグループ登録することで、トランシーバとしてご利用いただけます。3つのグループを登録できます。

■グループ登録

●専用のトランシーバ番号が登録されます。
●登録できる電話機の台数は制限がありません。ただし、登録できるトランシーバ番号は1～8000です。

■モードの切り替え

トランシーバとして利用するときは、待受モード（☞1-38ページ）を「グループ」または「公衆+グループ」に切り替えます。待受モードを「グループ」または「公衆+グループ」に切り替えるときは、あらかじめグループおよびトランシーバ番号を登録しておく必要があります。

グループモード

公衆+グループモード
（グループ優先）

■通話できる距離

トランシーバで通話できる距離は、見通しのよいところで約100～150mです。また、通話中約3分ごとに自動的にいったん通話が切れますが、約3秒後“ツッツッ、ツッツッ”という音がしてもう一度つながります。

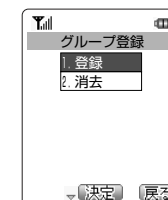
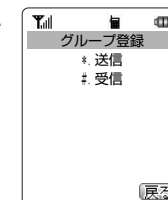
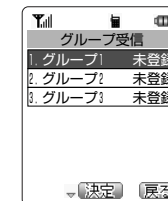
お知らせ

●グループモードでの音声通話（グループ通話機能）に対応していない端末とは、トランシーバ通話はできません。

グループの登録［メニュー82］

グループ登録を行うと、複数の電話機をトランシーバとしてご利用いただけます。グループ登録を行うには、送信側と受信側の2台の本電話機またはグループモードに対応した電話機が必要です。送信側と受信側でそれぞれの登録を行う必要があります。グループは3つまで登録することができます。

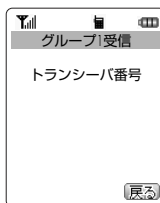
受信側の操作

1 待ち受け画面で(Menu)（Menuボタン）(8)(2)と押す

2 (◎)を押して「1.登録」を選択し、◯（決定）を押す

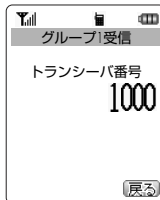
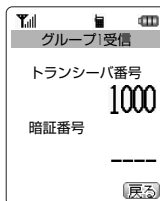
3 (#)を押す

次ページへつづく

4 ◎を押して登録するグループを選択し、◯（決定）を押す

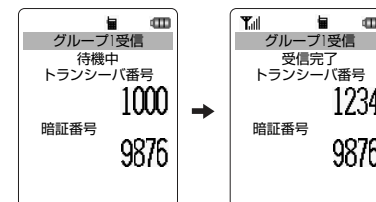
▶**登録済みのグループを選択したとき**
「登録済みです　上書きしますか？」と表示されます。「1.はい」または「2.いいえ」のいずれかを選択し、◯（決定）を押します。

5 ダイヤルボタンでトランシーバ番号を入力する

1～8000の4桁までの数字を入力します。

▶**トランシーバ番号を修正するには**
最後の1桁を消す：クリアを押す
すべての桁を消す：クリアを約1秒以上押す

6 #を押す

7 ダイヤルボタンで暗証番号（4桁）を入力する

▶**暗証番号を修正するには**
最後の1桁を消す：クリアを押す
すべての桁を消す：クリアを約1秒以上押す

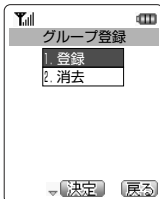
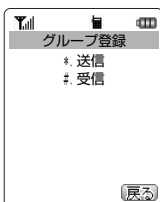
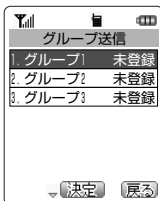
8 #を押す

「待機中」と表示されます。この間に送信側の登録操作の手順6（☞7-15ページ）を行います。
送信側の電波を受信すると完了音が鳴り、受信側が登録されます。

▶**登録できなかったとき**
エラー音が鳴り、受信失敗となります。
PWRを押すと、手順2の画面に戻ります。

お知らせ

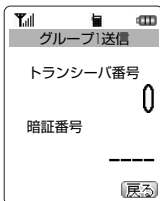
- ここで入力した暗証番号と同じ番号を、送信側の電話機の登録時にも入力します。
- 受信側は約1分間待機中となりますので、その間に送信側の操作を行ってください。

送信側の操作

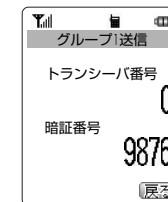
1 待ち受け画面で(Menu)（Menuボタン）(8)(2)と押す

2 ◎を押して「1.登録」を選択し、◯（決定）を押す

3 (*)を押す

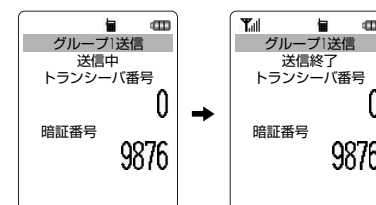
4 ◎を押して登録するグループを選択し、◯（決定）を押す

▶**登録済みのグループを選択したとき**
「登録済みです　上書きしますか？」と表示されます。「1.はい」または「2.いいえ」のいずれかを選択し、◯（決定）を押します。

5 ダイヤルボタンで暗証番号（4桁）を入力する

受信側で入力した数字を入力します。

▶**暗証番号を修正するには**
最後の1桁を消す：(クリア)を押す
すべての桁を消す：(クリア)を約1秒以上押す

6 受信側の電話機に「待機中」と表示されていることを確認し、(#)を押す

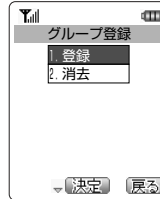
「送信中」と表示され、送信側の登録を開始します。
送信が成功すると、完了音が鳴り、登録が完了します。

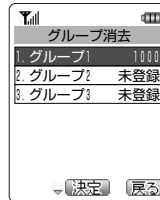
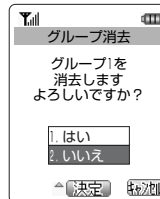
▶**登録できなかったとき**
エラー音が鳴り、送信失敗となります。(PWR)を押すと、手順2の画面に戻ります。

お知らせ

●送信側と受信側の暗証番号は一致していなければなりません。

グループ登録を消去する

1 待ち受け画面で（Menuボタン）と押す

▶ 登録されていないとき
「2.消去」は選択できません。

2 を押して、「2.消去」を選択する

3 ○（決定）またはを押す

4 を押して、消去したいグループを選択し、○（決定）を押す

5 を押して、「1.はい」を選択する

▶消去を中止するとき
を押して、「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

6 ○（決定）を押す

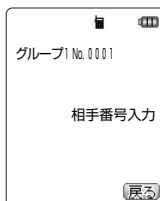
メッセージが表示され、選択したグループ登録が消去されます。

相手を呼び出す

待受モードをグループモードに切り替える必要があります。（☞7-10ページ）

1 ダイヤルボタンでグループ番号を入力する

①、②または③を押します。
自分の電話機の番号が表示されます。

グループ1 No.0001
相手番号入力
戻る

2 相手のトランシーバ番号を入力する

入力したトランシーバ番号が表示されます。

▶**トランシーバ番号を修正するには**
最後の1桁を消す：クリアを押す
すべての桁を消す：クリアを約1秒以上押す

グループ1 No.0001
0005
戻る

3 ☎を押す

相手が応答すると通話ができます。

4 通話が終了したら、PWRを押す

「☎」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

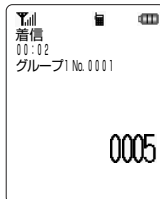
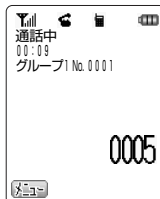
- 次のときには通話が終了することがあります。
  - ・距離が離れすぎたとき
  - ・バッテリーの電圧が低下したとき
  - ・なんらかの原因で電波の受信ができなくなったとき
    （このときには“ツーツーツー”という切断音が聞こえます）
- 通話中、約3分ごとに自動的に通話が切れますが、約3秒後にもう一度つながります。
- 電話帳からの発信はできません。

グループモードで使う〈つづき〉

相手の呼び出しに応じる

1 着信音が鳴る

着信ランプが点滅します。

2 アンテナをのばし、☎を押す

「☎」が点灯し、相手と通話できます。
通話時間が表示されます。

3 通話が終了したら、☎を押す

「☎」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- ●呼び出しを受けてから30秒たっても☎を押さないときには、自動的に接続を中止します。
- ●着信中に、すぐに電話にでられないとき、☎を押して着信音やバイブレータの振動を止めることができます。
- ●着信した番号は着信履歴に残りません。

電話帳やブックマークを転送する

電話帳転送機能対応機どうしで電話帳データやブックマークを転送することができます。次のデータが転送できます。

電話帳データ

名前	全角9文字（半角18文字）まで
読み	半角12文字まで
電話番号	32桁まで
番号種別	AIR-EDGE PHONE／PHS、携帯電話、FAX、種別なし
メールアドレス	2件、各半角64文字まで
グループ	10種類まで

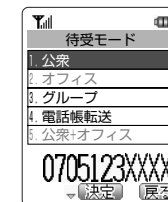
ブックマーク

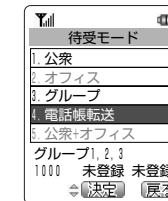
タイトル	全角10文字（半角20文字）まで
URL	半角200文字まで

転送の準備をする

電話帳やブックマークを転送するには、転送先の電話機がグループ登録（☞7-11ページ）されており、待受モードを「電話帳転送」モードに切り替えておく必要があります。

電話帳転送モードに設定する

1 Ⓜ（Menuボタン）⑧①と押す

2 ◎を押して、「4.電話帳転送」を選択する

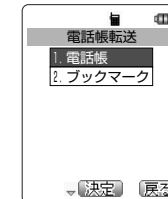
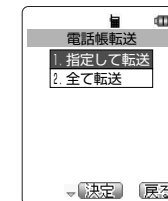
次ページへつづく

3 ◯（決定）を押す

待受モードが電話帳転送モードに設定されます。

お知らせ

●「電話帳転送」モードでは音声通話はできません。
●電話帳ロック（☞6-5ページ）を設定した状態では電話帳転送はできません。

電話帳を転送する［メニュー35］

1 待ち受け画面で（Menuボタン）3 5と押す

2 ◎を押して、「1.電話帳」を選択する

3 ◯（決定）を押す

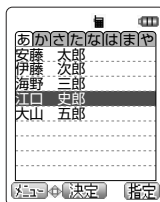
4 ◎を押して、「1.指定して転送」を選択する

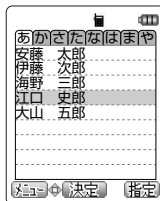
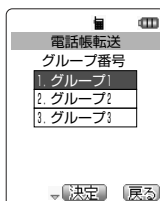
▶「2.全て転送」を選択したとき
手順8へ進みます。

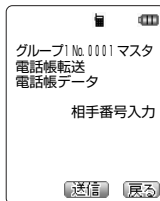
5 ◯（決定）を押す

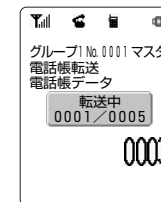
電話帳検索画面が表示されます。
前回使用した検索方法に設定されています。
「電話帳を利用して電話をかける」（☞2-70ページ）

次ページへつづく

6 電話帳を検索し、転送する電話帳を選択する

7 Web（指定）を押す

続けて他の電話帳を選択するときは、手順6から繰り返します。

8 ◯（決定）を押す

9 ◎を押して、転送先のグループを選択する

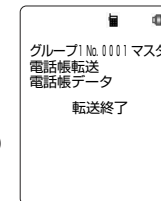
10 ◯（決定）を押す

11 転送先のトランシーバ番号を入力し、☎または◯（送信）を押す

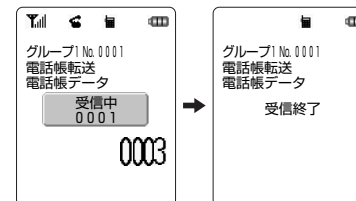
転送が開始されます。

12 転送を終了する

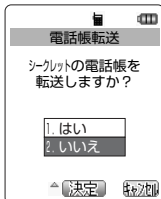
▶**転送が完了したとき**

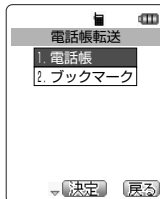
完了音が鳴り、待ち受け画面に戻ります。

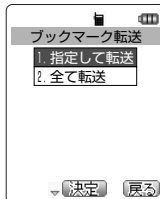
▶**転送に失敗したとき**

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■**受信側の表示**

転送された電話帳の登録内容が電話帳に登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

お知らせ

●電話帳シークレット（☞2-84ページ）を「表示する」に設定中で、シークレット設定した電話帳データを選択した場合は、手順8の操作のあと、右のような画面が表示されます。「1.はい」を選択し、◯（決定）を押すと、暗証番号を入力する画面が表示され、暗証番号を入力し、◯（決定）を押すと、手順8の画面が表示されます。「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押すと、シークレットの電話帳データは転送されません。

ブックマークを転送する［メニュー35］

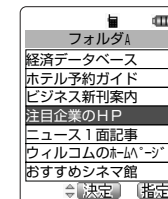
1 待ち受け画面で（Menuボタン）と押す

2 を押して、「2.ブックマーク」を選択する

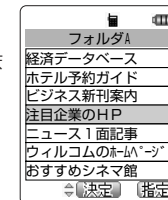
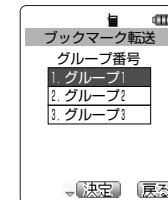
3 ◯（決定）を押す

4 を押して、「1.指定して転送」を選択する

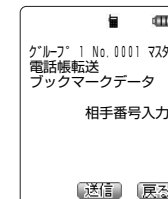
▶「2.全て転送」を選択したとき
手順9へ進みます。

5 ◯（決定）を押す

6 を押して、転送したいブックマークのあるフォルダを選択し、◯（決定）を押す

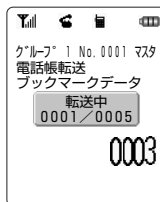
7 を押して、転送するブックマークを選択する

8 （指定）を押す

続けてほかのブックマークを選択するときは手順7から繰り返します。

9 ◯（決定）を押す

10 を押して、転送先のグループを選択する

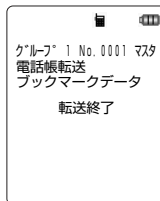
11 ◯（決定）を押す

次ページへつづく

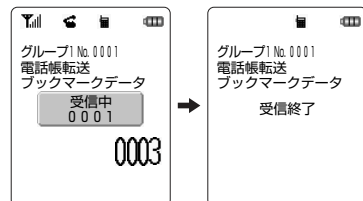
電話帳やブックマークを転送する〈つづき〉

12 **転送先のトランシーバ番号を入力し、（通話ボタン）または◯（送信）を押す**

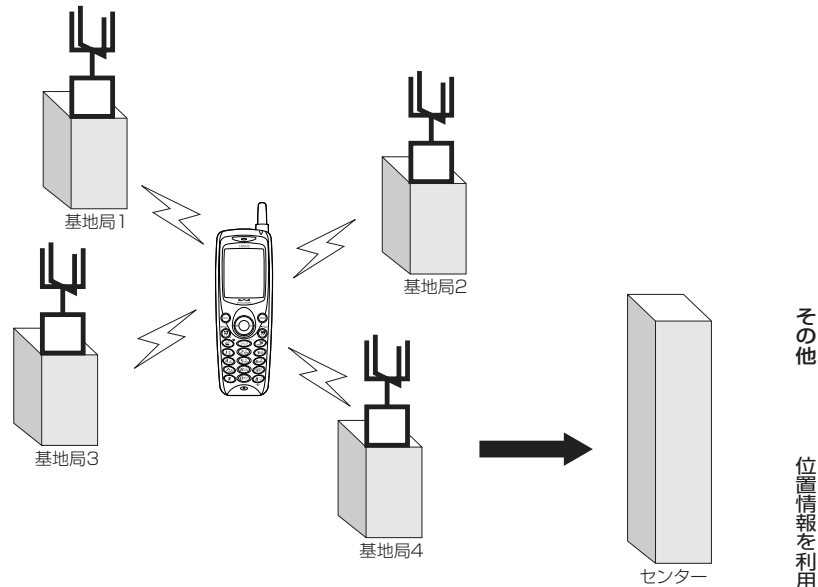
転送が開始されます。

13 **転送を終了する**

▶転送が完了したとき
完了音が鳴り、待ち受け画面に戻ります。

▶転送に失敗したとき
エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■受信側の表示

転送されたブックマークデータがブックマークに登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

位置情報を利用する

位置情報通知機能の概要

位置情報通知機能とは、電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、「発信型」と「着信型」があります。

基地局の電波の強さで、基地局から電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに電話機の場所を計算します。

お知らせ

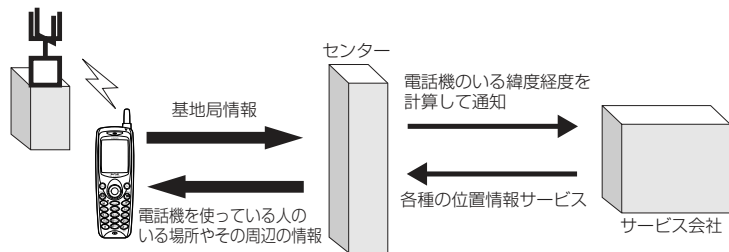
●位置情報サービスについては下記までお問い合わせください。
東芝ロケーションインフォ株式会社
電話　0120-180313（フリーダイヤル）
受付時間　9:00～17:00（土日祝日、東芝ロケーションインフォ株式会社の休日を除く）
URL　http://www.toshiba-tli.jp/

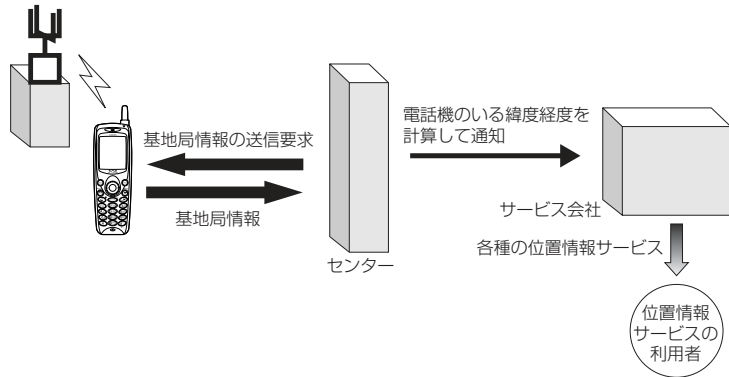
次ページへつづく▶

位置情報を利用する〈つづき〉

発信型機能

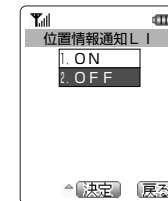
電話機からセンターに基地局情報を通知し（発信）、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。

センターは受け取った基地局情報をもとに、電話機のいる場所を算出し、サービス会社に通知します。この情報をもとに、サービス会社は各種情報サービスを提供します。

着信型機能

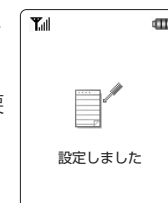
センターからの問い合わせ（着信）に応じて、電話機の基地局情報をセンターに通知し、第三者が電話機の位置情報を知ることができる機能です。

発信型機能を利用する［メニュー84］

発信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知機能を「ON」に設定する必要があります。

位置情報通知機能を設定する

1 待ち受け画面で（Menuボタン）84と押す

2 を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

3 を押して「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

●着信型機能をご利用の場合は、自動位置情報送出設定を「ON」に設定する必要があります。発信型機能のみをご利用の場合は「OFF」に設定してください。「着信型機能を利用する［メニュー84］」(☞7-33ページ)

位置情報を通知する

1 待ち受け画面で（キー）を約1秒以上押す

ディスプレイに「♥」が表示されます。

2 ダイヤルボタンでセンターの電話番号を入力する

ダイヤルボタンで電話番号を入力するかわりに、リダイヤル、着信履歴や電話帳から呼び出すこともできます。
「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」（☞2-8ページ）
「電話帳を利用して電話をかける」（☞2-70ページ）

3 （キー）を押す

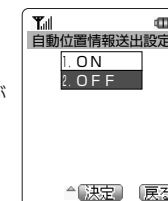
センターに電話がかかります。
位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

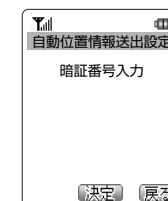
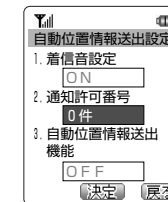
着信型機能を利用する［メニュー84］

着信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知機能を「ON」に設定し、自動位置情報送出設定を「ON」に設定する必要があります。

1 待ち受け画面で（Menuボタン）（8）（4）と押す

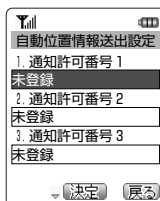
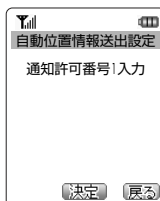
2 （方向キー）を押して「1.ON」を選択し、○（決定）を押す

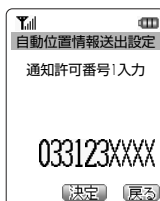
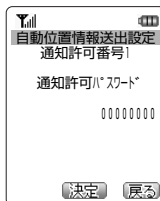
「設定しました」というメッセージが表示されたあと、右の画面が表示されます。

3 （方向キー）を押して「1.ON」を選択し、○（決定）を押す

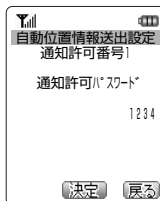
暗証番号を入力する画面が表示されます。

4 ダイヤルボタンで暗証番号を入力し、○（決定）を押す

次ページへつづく

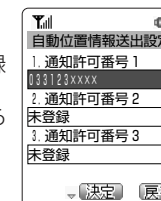
位置情報を利用する〈つづき〉

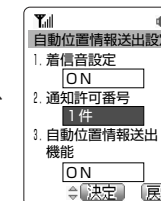
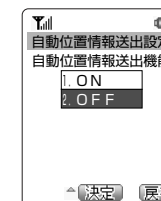
5 を押して「2.通知許可番号」を選択し、（決定）を押す

通知許可番号登録画面が表示されます。

6 を押して「1.通知許可番号1」を選択し、（決定）を押す

7 ダイヤルボタンで通知許可番号を入力する

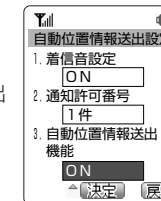
通知許可番号は20桁まで入力することができます。

8 （決定）を押す

9 ダイヤルボタンで通知許可パスワードを入力する

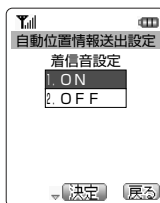
通知許可パスワードは8桁まで入力できます。
通知許可パスワードはあらかじめ「00000000」が設定されています。（クリア）を押して番号を消去してから入力してください。また、「0」、「0000」など0のみの番号を入力した場合は、着信型位置情報機能はご利用になれません。

10 （決定）を押す

「登録しました」というメッセージが表示され、通知許可番号登録画面に戻ります。
続けて他の通知許可番号とパスワードを入力するには、手順6から操作を繰り返します。

11 （Web）（戻る）または（クリア）を押す

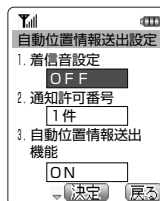
自動位置情報送出設定画面に戻ります。
通知許可番号と通知許可パスワード（0以外の数字）を入力すると、自動位置情報送出機能はONに設定されます。

12 を押して「3.自動位置情報送出機能」を選択し、（決定）を押す

13 を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、（決定）を押す

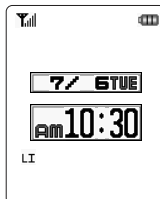
「設定しました」というメッセージが表示され、自動位置情報送出設定画面に戻ります。

次ページへつづく

位置情報を利用する〈つづき〉

14 ◎を押して「1.着信音設定」を選択し、◯（決定）を押す

15 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、自動位置情報送出設定画面に戻ります。

▶「1.ON」に設定したとき
センターからの問い合わせ（着信）を受けたときに、公衆着信音が3秒間鳴ります。

16 設定が完了したら PWR を押す

待ち受け画面に戻ります。着信型位置情報機能が「ON」に設定されていることを表す「LI」が表示されます。

お知らせ

●通知許可パスワードに「0」、「0000」などの0のみの番号を入力した場合は、着信型位置情報機能はご利用になれません。

デジタルカメラユニットを利用する

本電話機に、市販のデジタルカメラユニット「Treva（トレバ）」を装着し、写真を撮ることができます。
撮影した画像は、壁紙に設定したり、Eメールに添付して送信することができます。
また、ピクチャーBOX（☞6-62ページ）で表示することもできます。
※Treva（トレバ）は市販品です。
　イメージ・キャプチャー・ユニット「HC-D01」（京セラ株式会社製）

デジタルカメラユニットで撮影する

本電話機のイヤホンマイク端子にデジタルカメラユニットを差し込み、撮影したい対象にレンズを向けることで撮影できます。デジタルカメラユニットは360°回転させることができます。撮影した画像は最大10枚まで保存することができます。

1 デジタルカメラユニットをイヤホンマイク端子に差し込み、待ち受け画面で◯（決定ボタン）を約1秒以上押す

デジタルカメラが起動し、ディスプレイに撮影する画像が表示されます。

▶画像が上下反転しているとき
①Menu（メニュー）を押す
②◎を押して「3.反転」を選択し、◯（決定）を押す

▶画像を保存するメモリ容量が足りないとき
「ファイル空き容量がありません」とメッセージが表示されます。
撮影は表示されず、◯（決定ボタン）は押せません。

2 ◯（撮影）を押す

シャッター音が鳴り、撮影した画像が表示されます。

▶撮影をやり直すとき
Web（戻る）またはクリアを押す

次ページへつづく

3 ◯（保存）を押す

保存が完了すると、「保存しました」とメッセージが表示されたあと、撮影済みの画像を表示します。

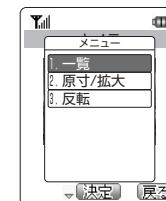
▶10枚撮影済みまたは空き容量がないとき
上書きする画像を選択する画面が表示されます。◎で上書きしてよい画像を選択し、◯（決定）を押します。

お知らせ

●マナーモード（☞2-101ページ）を設定していても、撮影時にはシャッター音が鳴ります。
●撮影する画像の表示中にデジタルカメラユニットが抜かれたときは、「カメラが接続されていません」というメッセージが表示されます。
●通話中にデジタルカメラユニットを装着したときには、「通話中はカメラを外してください　相手に音声が聞こえません」と表示されます。デジタルカメラユニットを外すと表示が消え、通話できる状態になります。
●デジタルカメラユニットはすばやく装着してください。ゆっくり装着すると、デジタルカメラユニットが認識されないことがあります。

撮影した画像を表示する

1 待ち受け画面で◯（決定ボタン）を約1秒以上押す

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して、「1.一覧」を選択する

保存されている画像が1枚もないときは「1.一覧」を選択することはできません。

4 ◯（決定）を押す

保存されている画像が表示されます。
◎を押して、撮影済みの他の画像を表示することができます。

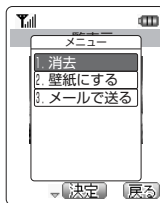
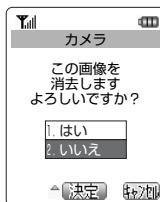
デジタルカメラユニットを利用する〈つづき〉

撮影した画像を消去する

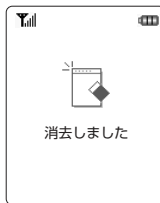
1 撮影した画像を表示させる

「撮影した画像を表示する」（☞7-39ページ）

2 ◎を押して、消去したい画像を選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「1.消去」を選択し、○（決定）を押す

5 ◎を押して「1.はい」を選択する

6 ○（決定）を押す

メッセージが表示され、選択した画像が消去されます。

国際ローミングを利用する

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイでも利用できるようになります。
サービスの詳細についてはウィルコムサービスセンター（☞8-7ページ）にお問い合わせください。

台湾で使用するには

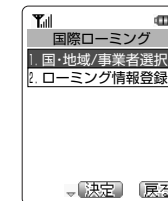
・本電話機のローミングモードを「台湾」に切り替えます。（☞7-41ページ）
・ローミング用の電話番号を本電話機に登録しておくことができます。（☞7-43ページ）

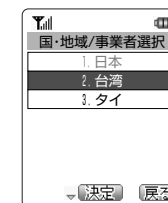
タイで使用するには

・ローミング情報を登録します。（☞7-45ページ）
・本電話機のローミングモードを「タイ」に切り替えます。（☞7-41ページ）

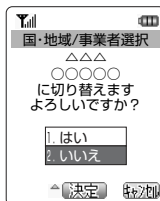
ローミングモードに切り替える［メニュー89］

台湾またはタイで本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。
タイに切り替えるには、あらかじめローミング情報を登録（☞7-45ページ）しておく必要があります。

1 待ち受け画面でMenu（Menuボタン）8 9と押す

2 ◎を押して「1.国・地域／事業者選択」を選択し、○（決定）を押す

次ページへつづく

3 を押して、「2.台湾」または「3.タイ」を選択する

▶台湾・タイのローミングから日本へ切り替えるとき
「1.日本」を選択する

4 ◯（決定）を押す

5 を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す

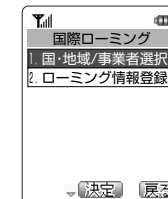
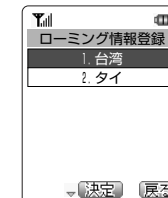
設定が完了します。
ローミングモードの設定中は、待ち受け画面に「RM」が点灯します。

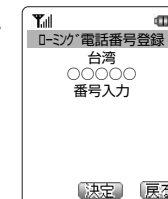
お知らせ

●ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
・安全運転モード（ネットワーク応答、ネットワーク応答＋留守電）
・発信者番号付加機能（184、186）
・分計発信
・ライトメール
・オンラインサインアップ
・オフィシャルメニュー
・Eメール自動受信
●ローミングモードを切り替えると、本電話機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。また、切替の際、60秒以内の時刻の誤差が生じます。ひんぱんに切替を行うと誤差が大きくなりますのでご注意ください。

台湾のローミング電話番号を登録する［メニュー89］

台湾で使用する場合は、ローミング用の電話番号を忘れないように本電話機に登録します。登録したローミング用の電話番号は、メニュー0の「電話番号表示」（☞6-4ページ）で表示されます。
※ローミング用の電話番号をお客様が確認するための機能です。本電話機にローミング用の番号を書き込む操作とは異なります。

1 待ち受け画面で（Menuボタン）8 9と押す

2 を押して「2.ローミング情報登録」を選択し、◯（決定）を押す

3 を押して「1.台湾」を選択し、◯（決定）を押す

次ページへつづく

4 ダイヤルボタンでローミング電話番号を入力する

▶すでに登録済みのローミング電話番号を修正するとき

Menu（メニュー）を押し、「1.修正」を選択し◯（決定）を押す
ローミング電話番号を編集する画面が表示されます。

5 ◯（決定）を押す

ローミング電話番号が登録されます。

お知らせ

●ローミング用の電話番号は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内があります。

タイのローミング情報を登録する

タイで使用する場合は、以下のローミング情報を登録します。
・ローミング先PS-ID
・PS番号
・ローミング電話番号
・暗証番号

自動でローミング情報を登録する

ウィルコムにタイでのローミングサービスをお申し込みになると、ウィルコムからローミング登録用ライトメールが送られます。ローミング登録用ライトメールを受信すると、ローミング情報は自動的に電話機に登録されます。
ローミング登録用ライトメールは自動的に保護設定（☞4-55ページ）となります。
海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、手動でローミング情報を登録することもできます。

お知らせ

●ウィルコムからのローミング登録用ライトメールは、ローミング終了まで大切に保管してください。
●受信したライトメールの保護件数は10件までです。すでにライトメールの保護件数が10件ある場合、ローミング登録用ライトメールは保護設定となりません。
●「ローミング情報登録」メニューで、ローミング情報の内容を確認することもできます。

手動でローミング情報を登録する［メニュー89］

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、以下の手順でローミング情報を登録します。

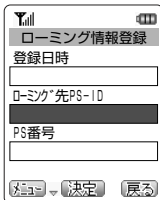
1 待ち受け画面でMenu（Menuボタン）8 9と押す

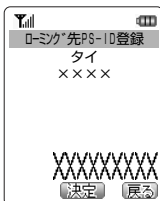
次ページへつづく

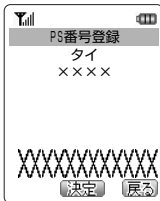
その他 国際ローミングを利用する

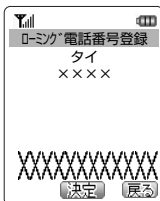
2 ◎を押して「2.ローミング情報登録」を選択し、◯（決定）を押す

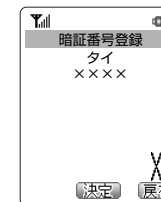
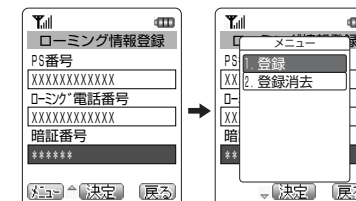
3 ◎を押して「2.タイ」を選択し、◯（決定）を押す

ローミング情報登録画面が表示されます。

4 ローミング先PS-IDを入力する

①ローミング情報登録画面で◎を押して「ローミング先PS-ID」を選択し、◯（決定）を押す
②ダイヤルボタンでローミング先PS-IDを入力する
③◯（決定）を押す

5 PS番号を入力する

①ローミング情報登録画面で◎を押して「PS番号」を選択し、◯（決定）を押す
②ダイヤルボタンでPS番号を入力する
③◯（決定）を押す

6 ローミング電話番号を入力する

①ローミング情報登録画面で◎を押して「ローミング電話番号」を選択し、◯（決定）を押す
②ダイヤルボタンでローミング電話番号を入力する
③◯（決定）を押す

7 暗証番号を入力する

①ローミング情報登録画面で◎を押して「暗証番号」を選択し、◯（決定）を押す
②ダイヤルボタンで暗証番号を入力する
③◯（決定）を押す

8 ローミング情報登録画面でMenu（メニュー）を押す

9 ◎を押して、「1.登録」を選択する

▶**登録済みのローミング情報を消去するには**
「2.登録消去」を選択する

10 ◯（決定）を押す

ローミング情報が登録されます。

お知らせ

●ローミング情報は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内があります。
●ローミング電話番号は、メニュー0の「電話番号表示」（☞6-4ページ）で確認することができます。
●ローミング情報を消去した場合は、タイでのご使用ができなくなりますのでご注意ください。

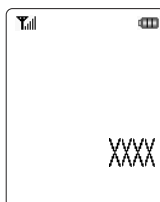
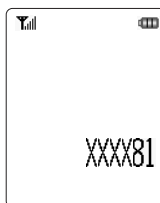
国際ローミングを利用する〈つづき〉

国際プリフィクス番号を簡単につける

ローミングモードでのご利用時に日本など、他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィクス番号」をつける必要があります。本電話機では、簡単な操作で国際プリフィクス番号を入力することができます。

ここでは日本に電話をかける場合の例で説明をします。

1 待ち受け画面で ＊ ＊ と押す

選択した国や地域で割り当てられた国際プリフィクス番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンで、8 1（日本の国番号）を入力する

3 ダイヤルボタンで、相手の電話番号から先頭の「0」を除いた番号を入力する

例えば、相手の番号が「070-1234-XXXX」の場合、「701234XXXX」と入力します。

4 （通話ボタン）を押す

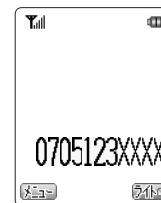
相手に電話がかかります。

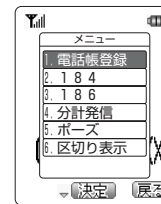
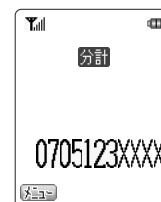
ウィルコムのサービスを利用する

料金分計サービスを利用する（有料）

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を2箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。料金分計サービスを使うには、あらかじめ契約が必要です。
料金分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。
「待受モードを切り替える［メニュー81］」（☞1-39ページ）
なお、ライトメールや、フレックスチェンジ方式・パケット方式でのデータ通信、CLUB AIR-EDGEへの接続および国際ローミングモードでのご利用は、分計サービスの対象外です。
詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。（☞8-7ページ）

分計サービスを使って電話をかける

1 ダイヤルボタンを押して、相手の電話番号を入力する

2 Menu（メニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

3 （方向キー）を押して「4.分計発信」を選択し、◯（決定）を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

次ページへつづく

4 を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

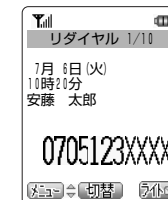
お知らせ

- 先にを押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード（公衆＋オフィス）に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは話中音が鳴り、分計発信できません。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度手順2～4の操作を行ってください。分計発信の設定が解除され、画面から「分計」という表示が消えます。
- 「184」または「186」をつけて、分計発信することもできます。(☞2-5ページ)

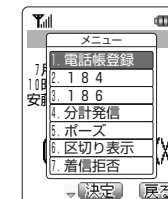
リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモから料金分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面でを押す

リダイヤルが表示されます。

▶**着信履歴を表示させるには**
待ち受け画面でを2回押す

2 を押して、かけたい電話番号を選択する

「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」(☞2-8ページ)

3 （メニュー）を押す

4 を押して「4.分計発信」を選択し、（決定）を押す

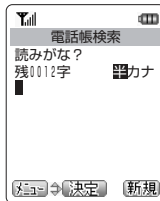
画面中央に「分計」と表示されます。

5 を押す

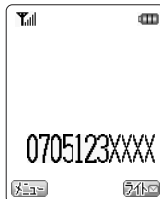
相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

電話帳から分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面で◎を押す

電話帳検索画面が表示されます。

2 ◎を押して、電話をかける相手を選択する

「電話帳を利用して電話をかける」（☞2-70ページ）

3 電話帳詳細画面で◯（決定）を押す

4 Menu（メニュー）を押す

5 ◎を押して「4.分計発信」を選択し、◯（決定）を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

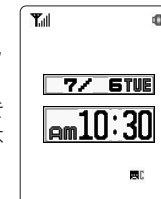
6 ☎を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

留守番電話サービスを利用する（有料）

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。
留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。（☞8-7ページ）

■留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「留守」が点灯します。
リマインダー（☞6-19ページ）を「ON」に設定しているときは、着信ランプが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。

お知らせ

- ●留守番電話サービスは文字メッセージを受けることはできません。
- ●留守番電話サービスは、着信転送サービス（☞7-55ページ）と同時にはご利用になれません。

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

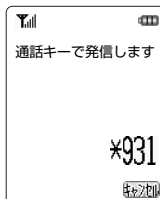
1 待ち受け画面で◯（決定ボタン）を押す

マイメニュー画面が表示されます。

2 ◎を押して、「📼」を選択する

3 ◯（決定）を押す

▶センターへの発信を中止するとき

Ⓦ（キャンセル）を押す

4 ☎を押す

留守番電話センターにつながります。音声ガイダンスに従って操作してください。
メッセージがすべて再生、または消去されると「📼」の表示が消えます。

お知らせ

- ●メッセージが保存されているときに「＊9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- ●プッシュ音の出せる一般電話や公衆電話から「0077-780-931」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- ●留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。（☞8-7ページ）

着信転送サービスを使う

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先はAIR-EDGE PHONE、一般電話、公衆電話などから選択できます。

申込手数料：不要
月額料：無料

通話料金等の詳細については、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。（☞8-7ページ）

お知らせ

- ●日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- ●転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

国際電話をかける

KDDI（001）の国際電話サービスにお申し込みいただくことにより、本電話機から国際電話がご利用になれます。
お申し込み（無料）、お問い合わせは下記のKDDIまでご連絡ください。

本電話機から海外へかける場合

例）ニューヨークの123-4567へかけるとき

001	→	010	→	1	→	212	→123-4567
KDDI国際 アクセス番号		国際電話である ことを示す番号		アメリカの 国番号		ニューヨーク の地域番号	相手の 電話番号

海外から本電話機にかける場合

例）アメリカから本電話機にかけるとき

011	→	81	→	70-XXXXXXXX
アクセス番号※		日本の 国番号		先頭の“0”を除いた 本電話機の電話番号

※国により異なります。

KDDI国際電話サービスについてのお申し込み・お問い合わせは下記へ
■AIR-EDGE PHONE・一般加入電話から
0077-7160（通話料無料）
受付時間　9:00〜20:00（年中無休）

なお、KDDIの場合、『KDDIスーパーワールドカード』（プリペイドカード）を使って、お申し込みなしでも国際電話がかけられます。詳しくは上記KDDIへお問い合わせください。

日本テレコム・C&W IDC・NTTコミュニケーションズもご利用いただけます。
別途、日本テレコム（0088-41）、C&W IDC（0066-11）、NTTコミュニケーションズ（0120-506506）との契約が必要です。

お知らせ

●国際ダイヤル通話のご利用料金は、契約された国際通信事業者からご請求がまいります。

ダイヤルアップ接続時にワンタイムパスワードを使用する

ダイヤルアップ接続時のワンタイムパスワード機能について

「ワンタイムパスワード」の機能を利用して、ダイヤルアップ接続時に毎回ユーザー名とパスワードを入力し接続するよう設定します。

■ワンタイムパスワード機能が使用できるモード

ワンタイムパスワード機能が使用できるのは、下記のいずれかのモードでダイヤルアップ接続の設定を行っている場合です。

●公衆モードで、「公衆動作モード」を「手動設定」にしている場合
●オフィスモードの場合

■パスワード入力が必要になる操作

ワンタイムパスワード機能を有効にすると、以下のような操作の際に、ワンタイムパスワード入力画面が表示され、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。

・URLを入力してWebページに接続する
・最後に表示したWebページ（ラストURL）に接続する
・ブックマークに登録されているURLからWebページに接続する
・画面メモに保存されたWebページ内のリンクを選択してWebページに接続する
・メールの本文中にあるリンクを選択してWebページに接続する
・Eメールを送受信する（Eメール自動受信は除く）

ワンタイムパスワードを有効にする

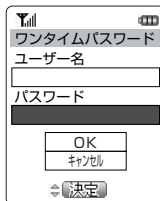
ワンタイムパスワード機能を有効にするには、ダイヤルアップ設定で「ワンタイムパスワード」の設定を「ON」にします。「ダイヤルアップを設定する」（☞3-68ページ）

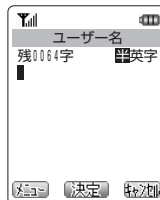
ワンタイムパスワードを入力する

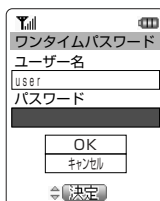
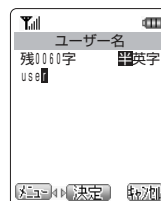
ワンタイムパスワード機能を有効にすると、Webへの接続やEメール送受信の際にワンタイムパスワード入力画面が表示されます。この画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。

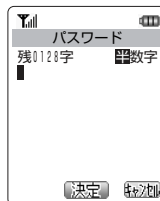
● 入力するユーザー名とパスワードは、プロバイダなどから通知されている接続用のユーザー名・パスワードです。

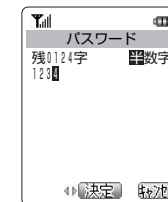
1 Webページへの接続、またはEメール送受信の操作をする

ワンタイムパスワード入力画面が表示されます。

2 ユーザー名の入力が必要な場合は、◎を押して「ユーザー名」を選択し、◯（決定）を押す

▶ユーザー名がすでに入力されているとき
「ダイヤルアップ設定」（☞3-68ページ）でユーザー名を設定済みの場合は、そのユーザー名が最初から入力されています。変更する必要がなければ、手順4へ進みます。

3 ユーザー名を入力し、◯（決定）を押す

▶ユーザー名を修正するには
カーソル位置の文字を1文字消す：
クリアを押す
カーソル位置を含む右側の文字をすべて消す：
クリアを約1秒以上押す

4 パスワードの入力が必要な場合は、◎を押して「パスワード」を選択し、◯（決定）を押す

▶パスワードがすでに入力されているとき
「ダイヤルアップ設定」（☞3-68ページ）でパスワードを設定済みの場合は、そのパスワードがワンタイムパスワード入力画面のパスワード欄に「＊」で表示されています。同じパスワードで接続する場合は、手順7へ進みます。

5 ダイヤルボタンでパスワードを入力する

▶パスワードを修正するには
カーソル位置の文字を1文字消す：クリアを押す
カーソル位置を含む右側の文字をすべて消す：
クリアを約1秒以上押す

6 ◯（決定）を押す

7 ◎を押して「OK」を選択し、◯（決定）を押す

ダイヤルアップ接続が開始されます。

▶接続に失敗したとき
ユーザー名またはパスワードに誤りがあり、ダイヤルアップ接続できない場合は、「接続に失敗しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

●Webページを表示した後で回線を切断したときなど、ブラウザを起動したままで再接続する場合には、ユーザー名・パスワードの入力は不要です。直前に入力したユーザー名とパスワードで再接続されます。
●ワンタイムパスワード入力画面では、クリアは無効です。待ち受け画面に戻るには、キャンセルまたは終話を押してください。

リモートロック機能を利用する

リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。
他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送ることで、電話機をロックして使用できなくしたり、登録されているデータを消去したりできます。

■リモートロック機能でできる処理

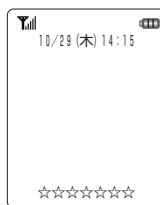
①リモートロック
　電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。
　着信を受けて通話することや、電源のON・OFFは可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳やリダイヤル／着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサー（☞6-29ページ）の設定も無効になります。

②リモートロック＋消去
　①に加え、電話機に登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去＋初期化」で消去・初期化される項目（☞6-35ページ）とほぼ同じです。ただし、以下の4項目は初期化されません。
　・暗証番号（☞1-42ページ）　・リモートロック設定（☞7-62ページ）
　・管理者パスワード（☞7-74ページ）　・管理者ロック設定（☞7-76ページ）

③リモートロック解除
　リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

■リモートロックの実行

上記①～③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送ることにより実行します。
・ライトメール送信（ライトメール対応のPHS電話機から）
・サブアドレス付き発信（サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から）

● コマンドを送ると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USBケーブル抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

お知らせ

●リモートロックを実行すると、以下の機能は無効になります。
・着信者表示機能、指定着信音機能、ピクチャー表示機能（☞2-56ページ）
・留守録（☞2-86ページ）、安全運転モード（☞2-102ページ）
●リモートロックを実行すると、目覚まし音、スケジュールのアラーム音は鳴らなくなります。
●リモートロックを実行すると、設定されていた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
●「リモートロック」、「リモートロック＋消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
●悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定をOFFにしてください。

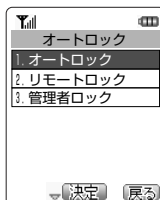
その他　リモートロック機能を利用する

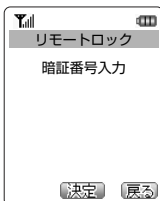
リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、パスワードを設定します。また、ライトメールによる操作、サブアドレス付き発信による操作について、それぞれ設定を行います。

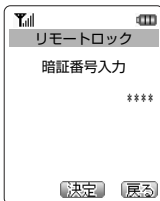
リモートロック設定画面を表示する

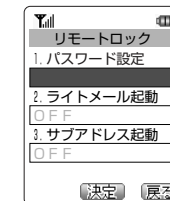
リモートロック機能に関する設定は、リモートロック設定画面から行います。
リモートロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面でMenu（Menuボタン）9 5と押す

2 ◎を押して「2.リモートロック」を選択し、○（決定）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

ここで入力するのは、メニュー96で設定した暗証番号（☞1-42ページ）です。
入力した番号は「＊」と表示されます。

▶暗証番号を修正するには
最後の1桁を消す：クリアを押す
すべての桁を消す：クリアを約1秒以上押す

4 ○（決定）を押す

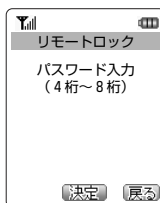
リモートロック設定画面が表示されます。

お知らせ

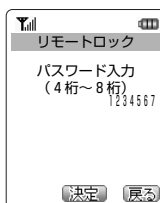
●暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴り、「暗証番号が違います」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。

パスワードを設定する

最初に、リモートロック機能用のパスワードを設定します。
パスワードは、4〜8桁の数字で設定します。
実際にリモートロック機能を使う際には、ここで設定したパスワードを入力して命令（コマンド）を送ることになります。

1 リモートロック設定画面で、◎を押して「1.パスワード設定」を選択し、○（決定）を押す

パスワードの入力画面が表示されます。

2 ダイヤルボタンでパスワードを入力する

▶パスワードを修正するには
最後の1桁を消す：クリアを押す
すべての桁を消す：クリアを約1秒以上押す

3 ○（決定）を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、リモートロック設定画面に戻ります。

お知らせ

●設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

ライトメールでのリモートロックの設定をする

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。
● 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、◎を押して「2.ライトメール起動」を選択し、○（決定）を押す

ライトメール起動設定画面が表示されます。

▶パスワードが未設定のとき
リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「2.ライトメール起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」（☞7-64ページ）

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、○（決定）を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。

▶「2.OFF」を選択したとき
「設定しました」というメッセージが表示され、リモートロック設定画面に戻ります。（この場合、ライトメールでの操作は実行できません。）

3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

4 ◎を押して「1.許可電話番号1」を選択し、○（決定）を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

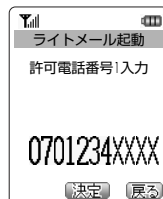
次ページへつづく

5 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶**電話番号を修正するには**
最後の1桁を消す：クリアを押す
すべての桁を消す：クリアを約1秒以上押す

▶**設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには**
設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む

ライトメール起動
許可電話番号1入力
0701234XXXX
決定 戻る

6 ◯（決定）を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、許可電話番号の設定画面に戻ります。

7 必要であれば、手順4～6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

8 設定が完了したらPWRを押す

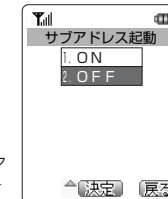
待ち受け画面に戻ります。

サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする

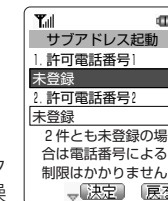
サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。

● 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、◎を押して「3.サブアドレス起動」を選択し、◯（決定）を押す

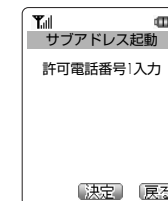
サブアドレス起動設定画面が表示されます。

▶**パスワードが未設定のとき**
リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「3.サブアドレス起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」(☞7-64ページ)

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。

▶「2.OFF」を選択したとき
「設定しました」というメッセージが表示され、リモートロック設定画面に戻ります。（この場合、サブアドレス付き発信での操作は実行できません。）

3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

4 ◎を押して「1.許可電話番号1」を選択し、◯（決定）を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

次ページへつづく

5 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

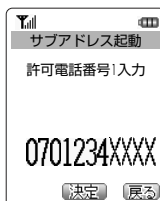
▶**電話番号を修正するには**
最後の1桁を消す：クリアを押す
すべての桁を消す：クリアを約1秒以上押す

▶**設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには**
設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む

6 ◯（決定）を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、許可電話番号の設定画面に戻ります。

7 必要であれば、手順4〜6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

8 設定が完了したらPWRを押す

待ち受け画面に戻ります。

リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのライトメールまたはサブアドレス付き発信により、リモートロックやデータ消去を実行します。

ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送ることにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

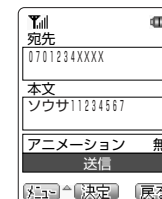
- 本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送る必要があります。
「ライトメールでのリモートロックの設定をする」（☞7-65ページ）
- 上記の場合、許可電話番号からライトメールを送っても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ1xxxxxxxx
②リモートロック＋消去	ソウサ3xxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ0xxxxxxxx

※ コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。
※ xxxxxxxxは、リモートロック機能用のパスワードを示します。
「パスワードを設定する」（☞7-64ページ）

■入力例

たとえば、電話番号「070-1234-XXXX」、設定パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面で下記のように入力し、送信します。

※ これは画面例です。
実際の画面は、送信に使用する電話機により異なります。

ライトメール送信の操作の詳細については、「ライトメールを作成送信する」（☞4-22ページ）を参照してください。

お知らせ

- ●受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- ●受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- ●コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- ●コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーションをつけて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- ●コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信ランプ、リマインダーも点灯しません。
- ●ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信完了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

リモートロック機能を利用する〈つづき〉

サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

- ●本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。
「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする」（☞7-67ページ）
- ●上記の場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

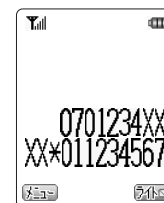
操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック＋消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

※ xxxxxxxxは、リモートロック機能用のパスワードを示します。
「パスワードを設定する」（☞7-64ページ）

■入力例

たとえば、電話番号「070-1234-XXXX」、設定パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX＊011234567

※ 電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「＊」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

※ これは画面例です。
実際の画面は、発信に使用する電話機により異なります。

お知らせ

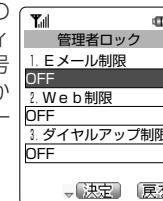
●受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
●受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
●コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
●この機能でコマンドを送った場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信ランプ、リマインダーも点灯しません。
●正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ピポ」という確認音が聞こえます。
●オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

管理者ロック機能を利用する

管理者ロック機能の概要

「管理者ロック」の機能を利用して、本電話機で使用できる以下の機能を制限することができます。
・Eメール機能
・Web機能
・ダイヤルアップ機能
・USB接続機能
・発信機能
・着信機能

■管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、Web接続、USB接続などの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をウィルコムに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発着信を許可したり、電話番号の先頭の数桁が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

お知らせ

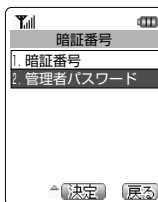
●管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードの入力が必要です。（☞7-74ページ）
●管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去＋初期化をすると初期値に戻ります。（☞6-34ページ）
●管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかる事を実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただきますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

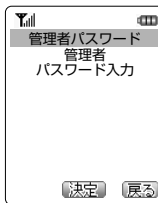
管理者ロック機能の設定をする

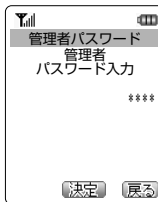
管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードの入力が必要です。
管理者ロック機能の設定には、Eメール制限、Web制限、ダイヤルアップ制限、USB制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可があります。

管理者パスワードを設定する

管理者ロックの設定や完全消去+初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。
管理者パスワードは、4〜8桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

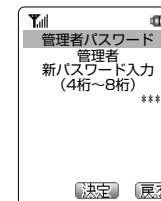
1 待ち受け画面でMenu（Menuボタン）9 6と押す

2 ◎を押して「2.管理者パスワード」を選択し、◯（決定）を押す

管理者パスワードの入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで現在の管理者パスワードを入力する

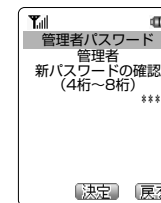
入力した番号は「＊」と表示されます。

4 ◯（決定）を押す

管理者パスワードが間違っているときは、「管理者パスワードが違います」というメッセージが表示され、待ち受け画面に戻ります。

5 ダイヤルボタンで新しい管理者パスワードを入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

6 ◯（決定）を押す

7 確認のため、もう一度新しい管理者パスワードをダイヤルボタンで入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

8 ◯（決定）を押す

メッセージが表示され、新しい管理者パスワードに設定されます。

▶**確認の管理者パスワードが間違っていたとき**
エラー音が鳴り、入力した管理者パスワードが消えます。
もう一度、手順7に従って、手順5で入力した新しい管理者パスワードを入力してください。

お知らせ

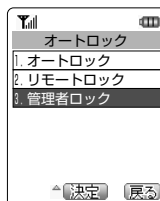
- ●設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、修理ご相談窓口（☞8-7ページ）へお申し出ください。
- ●完全消去+初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。

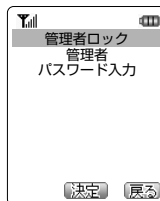
その他 管理者ロック機能を利用する

管理者ロック機能を利用する〈つづき〉

管理者ロック設定画面を表示する

管理者ロック機能に関する設定は、管理者ロック設定画面から行います。
管理者ロック設定画面は以下の手順で表示します。

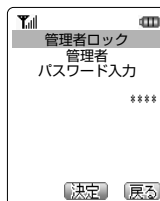
1 待ち受け画面で(Menu)（Menuボタン）(9)(5)と押す

2 (◎)を押して「3.管理者ロック」を選択し、◯（決定）を押す

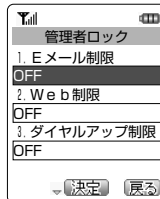
管理者パスワードの入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで管理者パスワードを入力する

ここで入力するのは、メニュー96で設定した管理者パスワード（☞7-74ページ）です。
入力した番号は「＊」と表示されます。

管理者ロック
管理者
パスワード入力
****
決定　戻る

▶管理者パスワードを修正するには

最後の1桁を消す　：(クリア)を押す
すべての桁を消す　：(クリア)を約1秒以上押す

4 ◯（決定）を押す

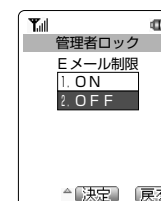
管理者ロック設定画面が表示されます。

お知らせ

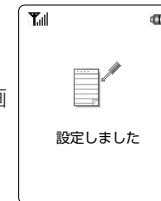
●管理者パスワードが一致しないと、エラー音が鳴り、「管理者パスワードが違います」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。

Eメールを制限する

Eメールの送受信とオンラインサインアップ（☞4-5ページ）ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で、(◎)を押して「1. Eメール制限」を選択し、◯（決定）を押す

Eメール制限設定画面が表示されます。

2 (◎)を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

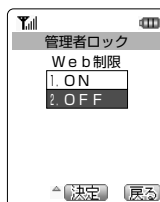
「設定しました」というメッセージが表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

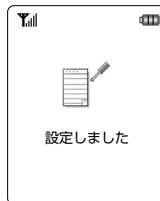
●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
●Eメール制限を「ON」に設定した場合、Eメールの送受信やオンラインサインアップをすると、「Eメール制限設定中です」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。
●Eメール制限を「ON」に設定した後、センターからEメール自動受信の通知（☞4-41ページ）を受けた場合は、「センターにEメールが有ります」と表示され、Eメールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「(アイコン)」が点灯します。「(アイコン)」を選択し、決定をすると「Eメール制限設定中です」のメッセージが表示され「(アイコン)」の表示は消えます。
●Eメール制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのEメール送受信は制限されません。
●Eメール制限を「ON」に設定しても、パソコンからのEメール送受信は制限されません。パソコンからのEメールの送受信も制限する場合は、USB接続の制限（☞7-80ページ）も同時に設定してください。

Webを制限する

Web接続ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で、◎を押して「2. Web制限」を選択し、○（決定）を押す

Web制限設定画面が表示されます。

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、○（決定）を押す

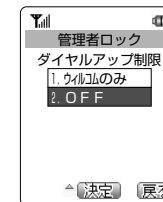
「設定しました」というメッセージが表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

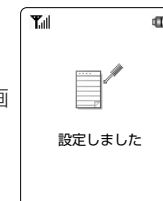
- ●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ●Web制限を「ON」に設定した場合、Web接続をすると、「Web制限設定中です」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- ●Web制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのWeb接続は制限されません。
- ●Web制限を「ON」に設定しても、パソコンからのWeb接続は制限されません。パソコンからのWeb接続も制限する場合は、USB接続の制限（☞7-80ページ）も同時に設定してください。

ダイヤルアップを制限する

ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ウィルコム以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。
ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ウィルコムのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭9桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

1 管理者ロック設定画面で、◎を押して「3. ダイヤルアップ制限」を選択し、○（決定）を押す

ダイヤルアップ制限設定画面が表示されます。

2 ◎を押して「1.ウィルコムのみ」を選択し、○（決定）を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- ●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ●ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定した場合、ウィルコムへのダイヤルアップ番号以外で、Eメール送受信やWeb接続をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- ●ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。
- ●ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定しても、パソコンからのダイヤルアップ接続は制限されません。パソコンからのダイヤルアップ接続も制限する場合は、USB接続の制限（☞7-80ページ）も同時に設定してください。

USB接続を制限する

USB接続をして使用する機能（Eメール送受信、Web接続、データ通信、ファイル転送、H" 問屋など）への接続ができないようにします。

1 **管理者ロック設定画面で、◎を押して「4. USB制限」を選択し、◯（決定）を押す**

USB制限設定画面が表示されます。

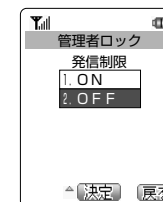
2 **◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」というメッセージが表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

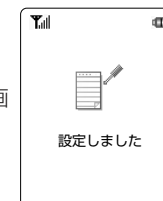
1 **管理者ロック設定画面で、◎を押して「5. 発信制限」を選択し、◯（決定）を押す**

発信制限設定画面が表示されます。

2 **◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」というメッセージが表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- ●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ●USB制限を「ON」に設定した場合、USB接続をして使用する機能を実行しようとすると、パソコン上でエラーとなります。
- ●USB制限を「ON」に設定した場合でも、USB充電は可能です。

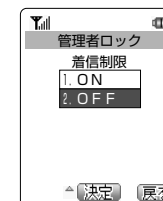
次ページへつづく

お知らせ

- ●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ●発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- ●発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外に、発信やライトメールの送信をすると、「発信制限設定中です」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。また、リダイヤルは残りません。
- ●発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送はできなくなります。
- ●発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（発信型）（☞7-31ページ）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、電話帳に発信先の電話番号を登録してください。
- ●発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- ●発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（PSC）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージ有り確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、＊21（AIR-CONFERENCE）、＊93（留守番電話サービス再生）
- ●発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- ●発信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送やH"問屋の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えを制限するには、USB接続の制限（☞7-80ページ）も同時に設定してください。

着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

1 **管理者ロック設定画面で、◎を押して「6. 着信制限」を選択し、◯（決定）を押す**

着信制限設定画面が表示されます。

2 **◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」というメッセージが表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- ●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ●着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- ●着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があった時は、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には"ツーツーツー"という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- ●着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送ができなくなります。
- ●着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ウィルコムからのメール通知は着信できます。
- ●電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否（☞6-26ページ）が設定されている相手から電話がかかってきたり、ライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。
- ●着信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送やH"問屋の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えも制限するには、USB接続の制限（☞7-80ページ）も同時に設定してください。

その他　管理者ロック機能を利用する

管理者ロック機能を利用する〈つづき〉

先頭一致発信を許可する

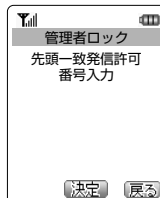
先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。
ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。
先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。
先頭一致発信許可番号の10件全てが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、全ての電話番号が発信可能となります。

1 管理者ロック設定画面で、◎を押して「7. 先頭一致発信許可」を選択し、◯（決定）を押す

先頭一致発信許可設定画面が表示されます。

管理者ロック
先頭一致発信許可
1.未登録
2.未登録
3.未登録
4.未登録
5.未登録
6.未登録
決定 戻る

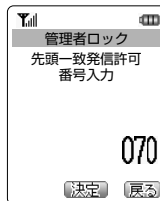
2 ◎を押して「1.未登録」を選択し、◯（決定）を押す

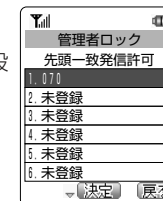
先頭一致発信許可番号入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで先頭一致発信許可番号を入力する

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。
184または186から始まる番号は登録できません。

▶先頭一致発信許可番号を修正するには
最後の1桁を消す　：クリアを押す
すべての桁を消す　：クリアを約1秒以上押す

▶設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには
設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順4に進む

管理者ロック
先頭一致発信許可
番号入力
070
決定 戻る

4 ◯（決定）を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、先頭一致発信許可設定画面に戻ります。

5 必要であれば、手順2〜4の要領で「2.未登録」〜「0.未登録」を同様に設定する

6 設定が完了したらWeb（戻る）を押す

管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- ●お買い上げ時は「未登録」です。
- ●先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- ●先頭一致発信許可の設定により発信が許可されなかったときは、「先頭一致発信許可設定中です」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。また、リダイヤルは残りません。
- ●位置情報通知機能（発信型）（☞7-31ページ）の発信も先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。
- ●先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- ●先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（PSC）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージ有り確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、＊21（AIR-CONFERENCE）、＊93（留守番電話サービス再生）
- ●発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

その他
管理者ロック機能を利用する

管理者ロック機能を利用する〈つづき〉

機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能の一覧

管理者ロック設定 / 制限される機能	Eメール制限	Web制限	ダイヤルアップ制限	USB制限	発信制限	着信制限	先頭一致発信許可
音声発信	−	−	−	−	○※2	−	○※3
音声着信	−	−	−	−	−	○※2	−
ライトメール送信	−	−	−	−	○※2	−	○※3
ライトメール着信	−	−	−	−	−	○※2	−
Eメール送受信（電話機単体）	○	−	○※1	−	−	−	−
Web接続（電話機単体）	−	○	○※1	−	−	−	−
Eメール送受信（パソコン接続）	−	−	−	○	−	−	−
Web接続（パソコン接続）	−	−	−	○	−	−	−
データ通信の発信（パソコン接続）	−	−	−	○	−	−	−
データ通信の着信（パソコン接続）	−	−	−	○	−	○※2	−
リモートロック	−	−	−	−	−	−	−
ローミング登録用ライトメール	−	−	−	−	−	−	−
位置情報通知機能（発信型）	−	−	−	−	○※2	−	○※3
位置情報通知機能（着信型）	−	−	−	−	−	−	−

○　：制限あり
—　：制限なし
※1：ウィルコムのダイヤルアップのみ許可
※2：電話帳に登録されている電話番号のみ許可
※3：先頭一致発信で許可されている番号のみ許可